

GE-2-i-05	B ジェンダー論	第2学年	前期 選択必修	1.5単位
担当者	原 葉子			
一般目標 (GIO)	社会的・文化的な性のあり方を指す「ジェンダー」という概念について基礎的な知識を学ぶとともに、社会のジェンダー構造に気づき考える視座を習得する。			
到達目標 (SBOs)	1. ジェンダーに関する基本的な用語を説明することができる。 2. 具体的な事項について、ジェンダー論の視点から分析、考察することができる。			
受講心得・準備学習等	ジェンダーは社会の中に埋め込まれているために「自然なこと」として存在しており、固定観念や思いこみの多い領域でもある。授業では、この「当たり前」を問いなおし、現代社会のジェンダーのあり方を考え直していく作業を行う。受講者には、ジェンダーをめぐる各回のテーマを身近な問題として意識し、考えていくことが求められる。授業の最後にリアクション・ペーパーを提出してもらい、授業の理解度と、テーマに関する考察の度合いを評価する。日ごろより新聞等に目を通し、現在社会で何が問題になっているのかをおさえておくことが必要である。			
事後学習・復習等	習得した知識を授業だけで終わらせず、日々の出来事、身の回りの事象と関連させて考えてみる。			
オフィスアワー	質問・相談があれば、授業後に時間をとる。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義
回	項目	内容
1	ガイダンス	ジェンダーとは何か
2	セクシュアルマイノリティ	セックス・ジェンダー・セクシュアリティの多様性
3	伝達されるジェンダー規範	子どもをめぐるジェンダー規範の伝達と受容
4	学校のジェンダー秩序	学校現場での先生―生徒相互作用
5	労働とジェンダー	職業・昇進・賃金のジェンダー差
6	ジェンダー間格差を是正する	政治におけるクオータ制について
7	ことばとジェンダー	ことばをめぐる制約と可能性
8	メディアとジェンダー	メディアの構築する「現実」とジェンダーの関係
9	「男らしさ」の規範	男性の抱える問題と社会のありかた
10	エイジングとジェンダー	加齢とジェンダーの関係性
11	デートDVの構造	デートDVの要因と構造
12	買春のポリティクス	買春の社会的背景と権力構造
13	戦争とジェンダー	戦時性暴力を考える
14	まとめ	ジェンダー論をふり返る

成績評価の方法	リアクション・ペーパーとレポートにより総合的に評価する。
成績評価の基準	授業内容の理解度、論述における論理性や着眼点などを評価する。総合して60%以上を合格とする。
教科書	使用しない。
参考書など	授業のなかで適宜紹介する。